

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会

令和2年度 事業報告

(自 令和2年4月1日 ~ 至 令和3年3月31日)

第1章 第二種社会福祉事業

Ⅰ 各種盲人団体及び盲学校並びに盲人福祉施設等への助成事業

(1) 第63回愛盲シール運動の概要

下口画伯により前年同様に愛盲シールとして3種の花とサンタの絵を描いて頂き、全国の登録会員、協力団体、施設、盲学校等へ届けた。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で外部での募金活動は行えなかったが、継続して睡眠総合ケアクリニック代々木の受付に募金箱を置かせて頂いている。又、下口画伯のご協力により新たに東京大学前のコーヒーショップに募金箱を置くことが出来た。

<愛盲シール寄付件数・金額>

	令和2年度	令和元年度
件数:	2,663件	2,610件
金額:	10,690,065円	7,719,371円

(令和2年度は個人より大口の寄付があった。)

<団体分担金>

	令和2年度	令和元年度
日視連	667,500円	586,000円
日盲社協	300,000円	301,250円
盲学校長会	319,850円	313,250円
合計	1,287,350円	1,200,500円

(2) 福祉助成金の支給

本年度の福祉助成金の募集は7月27日~9月30日まで行ったが、コロナ禍等により、申請団体は昨年度より24団体少ない53団体、申請金額も約250万円少ない7,715,000円であった。この中からこれまでの実績と申請内容を検討し、52団体に対し、4,825,000円を助成することを決定した。なお、昨年度支給した団体で事業の中止は8団体、今年度への延期は8団体あり、今年度の実質活動団体は60団体となる。

		令和 2 年度		令和元年度	
①施設の改善・備品等の購入	11 件	1,380,000 円	12 件	678,000 円	
②会議・講演会・研修	17 件	2,030,000 円	25 件	2,239,900 円	
③出版・啓発活動	12 件	630,000 円	16 件	1,480,000 円	
④調査・研究	4 件	430,000 円	4 件	470,000 円	
⑤文化・スポーツ	8 件	355,000 円	18 件	710,000 円	
合 計	52 件	4,825,000 円	75 件	5,577,900 円	

2 各種会議

(1) 理事会

①第 103 回理事会 決議の省略（書面決議）

期 日：令和 2 年 6 月 15 日

主な議題：令和元年度事業報告及び同決算報告

②第 104 回理事会 決議の省略（書面決議）

期 日： 令和 3 年 3 月 23 日

主な議題：・令和 2 年度補正予算(案)
 ・令和 3 年度事業計画(案) 同予算(案)
 ・役員及び評議員の報酬等に関する規定（案）
 ・承認社会福祉充実計画終了に係る承認申請書（案）
 ・視覚障害者選挙情報支援プロジェクト運用規程（案）
 ・選挙プロジェクト賠償積立金の返戻に関する件（案）

(2) 評議員会

①第 87 回評議員会 決議の省略（書面決議）

期 日：令和 2 年 6 月 30 日

主な議題：令和元年度事業報告及び同決算報告

②第 88 回評議員会 決議の省略（書面決議）

期 日： 令和 3 年 3 月 31 日

主な議題：・令和 2 年度補正予算(案)
 ・令和 3 年度事業計画(案) 同予算(案)
 ・役員及び評議員の報酬等に関する規定（案）
 ・承認社会福祉充実計画終了に係る承認申請書（案）
 ・視覚障害者選挙情報支援プロジェクト運用規程（案）
 ・選挙プロジェクト賠償積立金の返戻に関する件（案）

(3) 監事監査

期 日： 令和 2 年 5 月 18 日
場 所： 日本視覚障害者センター

(4) 法人三役会

期 日： 令和 3 年 3 月 2 日
場 所： オンライン

(5) 愛盲シール委員会

- ① 期 日： 令和 2 年 6 月 17 日
場 所： 日本視覚障害者センター
- ② 期 日： 令和 3 年 3 月 29 日
場 所： オンライン

(6) 福祉助成金審査委員会

期 日： 令和 2 年 12 月 24 日
場 所： 日本視覚障害者センター

第 2 章 公益事業

1 盲人福祉に関する情報資料の収集及び提供

(1) 被災視覚障害者支援事業

1-1 大災害時被災視覚障害者支援対策本部

令和 2 年 7 月豪雨等における被災者の状況調査と支援活動を行った。
初期対応として状況調査の情報に基づき、被災者が当面必要な物品（白杖・ソーラ
ーラジオ・マスク・消毒液等）を日本盲導犬協会の協力を得て、7 月に熊本・福岡
へ送付した。

また、8 月 26 日より義援金の募集を開始し、日視連・日盲社協・盲学校長会の協
力を得て、12 月 24 日に見舞金 750,000 円（14 件）を支給した。

令和 3 年 2 月に発生した福島県沖地震においては、同上の義援金より被災者へ見
舞金 250,000 円（5 件）を支給した。

1-2 被災視覚障害者支援体制構築プロジェクト事業

2018 年から 3 か年の事業計画で災害時の視覚障害者の支援体制を構築するため

支援リーダーの養成研修、防災・減災イベントの実施を行ってきた。

最終年度となる本年度は、オンライン会議にて支援体制の構築について議論を重ねた。また、日本医療研究開発機構の委託研究に協力して7日間21回の講演に分けてオンライン研修を行った。

(2) WBU (世界盲人連合) 関連

- ①第1回オフィサー会議 (オンライン) 令和2年6月1日・3日・10日
- ②第2回オフィサー会議 (オンライン) 令和2年10月26日~30日

(3) WBUAP (世界盲人連合 アジア太平洋地域協議会)

- ①第15回マッサージセミナー2020延期に関する電話持ち回り会議
令和2年4月10~14日
- ②マッサージセミナー実行委員会 令和2年7月31日
- ③WBUAP web アクセシビリティセミナーオンライン
令和2年10月22日
- ④第15回マッサージセミナー事務局会議 令和2年12月14日
- ⑤第15回マッサージセミナープログラム小委員会 令和2年12月23日
令和3年2月22日
- ⑥WBUAPマッサージ委員会理事会 オンライン 令和3年3月17日
- ⑦WBUAP理事会 オンライン 令和3年3月27日

(4) 視覚特別支援学校 (盲学校) の防災教育に関する調査事業の実施 (生協助成事業)

-盲学校における防災教育において、防災訓練も重視されていることに鑑み、体験ツールとして寝袋・ラジオライト・ヘルメット・簡易トイレを各盲学校へ送付し、活用方法について調査を行った。

(5) 「自由民主」点字版 (活字併用) の作成 年4回発行

(6) ニュースレター (当委員会広報誌) の作成 年2回発行

(7) 国際活動に関する情報提供

WBUの広報誌、メールマガジン等より、日本の視覚障害者の福祉や国際交流に役立つ記事を翻訳し広報した。また、コロナウイルス感染防止のなか韓国シロアム視覚障害者福祉館の提案により、日本・中国・韓国の音楽交流を日視連音楽家協議会の協力を得て、オンラインで開催した。

2 盲人福祉に関する啓発広報

(1) 視覚障害者選挙情報支援プロジェクト関係

①国政選挙は行われなかったが、2知事選挙に選挙公報の拡大文字版を作成・発行した。発行部数は以下の通り。

・岡山県知事選挙 令和2年10月25日 拡大文字版100部

・山形県知事選挙 令和3年1月24日 拡大文字版25部

②視覚障害者選挙情報支援プロジェクト三媒体事務局に対し、同プロジェクトに関する運用規程(案)について意見を徴収した。

③衆議院選挙に向けて、音声版部会(8月19・21日)・点字版部会(9月4日)の研修会をオンラインで行った。

④総務省を訪問し衆議院選挙に向けて課題を協議した。(9月16日)

(2) 共催事業

①日本点字制定130周年記念講演会 <日本点字委員会> 令和2年11月1日

②「第50回朗読録音奉仕者感謝の集い」<鉄道弘済会>

50周年記念パンフレットの作成

・全国表彰

中止

・特別功労賞・特別協力賞の表彰

令和2年12月1日・4日

③「第57回点字毎日文化賞表彰式 <点字毎日>

中止

・日盲委奨励賞の贈呈

(3) その他 各種行事への後援及び協賛

①第17回本間一夫文化賞贈呈式 <日本点字図書館> 令和2年11月14日

②第68回全国盲人福祉施設大会 功労者の表彰実施

令和2年10月

③第18回オンキョー点字作文コンクール表彰式

中止

(4) 「盲人のための国際シンボルマーク」の普及広報活動及び管理

「盲人のための国際シンボルマーク」申請件数は76件あり、年を追うごとに増えている。申請先は都道府県の各福祉課、視覚障害者団体、民間企業等、多くの分野から求められ、啓発活動に寄与することができた。

(5) 地域貢献活動の参加

コロナ禍のため第8回日視連フェスティバルは中止された。また、従来から参加している新宿区内社会福祉法人連絡会の活動はオンラインで開催された。

以 上